

# 令和5年度 印旛地区教育研究集会

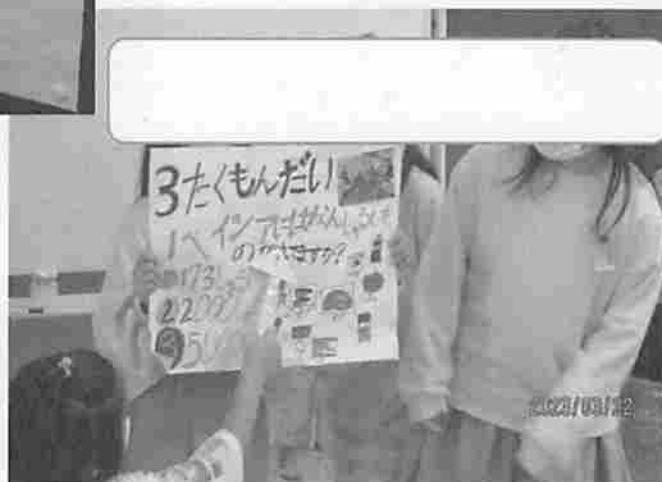
## 生活科分科会 提案資料

### 研究主題

自分の体験や気づきを伝え合うことができる子どもの育成

～身近な人との交流を通して～

1年「学校探検」、2年「地区探検」の実践を通して



第2部会 成田市立本城小学校

美濃谷 洋子

## 1 研究主題

自分の体験や気づきを伝え合うことができる子どもの育成  
～身近な人との交流を通して～

## 2 主題設定の理由

### (1) 今日の教育課題から

新型コロナウイルス感染症の影響により、学校での学習は様々な制限がある中で行われてきた。これまでの生活科の学習で重要としていた、友達や地域の方々などの他者と関わることで、新たな気づきがあったり、自分の考えが広がったり深まったりする場を設けることが難しくなった。また、子ども達が、人と関わることの楽しさやよさを感じる機会が大幅に減少してしまった時期でもあった。学校においては、このような社会状況をふまえて、学習内容を工夫した学びの場面を設定する必要がある。

### (2) 学習指導要領より

生活科の教科目標は、次の通りである。

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技術を身に付けるようにする。
- (2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。
- (3) 身近な人々、社会及び自然に働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

以上の重点を踏まえて、困難な社会状況ではあるが、他者との交流から児童が得られるものは大切であろう。学校探検や町探検などの体験活動から自分が発見したこと、気付いたことを伝え合う表現活動がスパイラルにつながり合うことで主体的で深い学びにつながっていくと考えた。

### (3) 学校教育目標より

〈学校教育目標〉

「たくましく 心豊かな 子どもの育成」 ～夢と希望を笑顔で語る子どもたち～

〈めざす学校像〉

- ㊸ 本音で、教師と子どもが語り合い、誰もが生き生きとしている学校
- ㊹ 本気で子どもと接し、「いじめを許さない」「いじめのない」学校
- ㊺ 情熱と愛情を注ぎ、夢と感動を与える学校
- ㊻ 陽気で明るく、笑顔いっぱいあふれる学校
- ㊼ うれしさと喜びのある学校

### 〈めざす子ども像〉

- ① 思いやりのある子ども
- ② よく考え、自分から進んで学習する子ども
- ③ 心身ともに健康で、たくましい子ども
- ④ きまりを守り、最後までがんばりぬける子ども
- ⑤ 正しい生活習慣を身につける子ども

本校の研究は、コロナウイルス感染防止により生活科の活動自体が制限された中、人とのコミュニケーションをどのように図るのかを模索しながら、「人との関わりで子どもは育つ」という観点から「聞く・話す」活動を通して伝え合う力の育成を目指した。このことは、本校の重点目標である「よく考え、自分から進んで学習する子ども」につながっていく。

### (3) 児童の実態より

本校が所在している遠山地区は、成田市の南部に位置し、近隣には明治時代に造られた三里塚御料牧場記念館がある。日本獣医学発祥の地であり、畜産振興のバイオニアとして輝かしい足跡を残したが、新東京国際空港の建設にともない閉場した。学区の道路には競馬場の形がそのまま活かされている所があり、馬と共存共栄していたことを感じる地域である。学校のシンボルマークも馬である。

また、近辺には商業施設が多く立ち並び、住宅地が増設されており、本校に通う児童数が年々増加傾向にある。そして、外国からの転入生も増えてきており国際色豊かな学校である。子どもたちの取り巻く環境は、核家族が多く、多種多様な家庭環境で育っていて、家庭での体験活動の差も大きいと感じられる。関連して、他者とどのように関わっていけばよいか分からない児童や、自分の考えを適切に表現することが難しい児童が多く、コミュニケーションに苦手意識をもっている児童が目立つ。そのため、子ども達が身近な人々と接し、コミュニケーションを図る経験が必要であると考えている。

そこで、生活科では「学校探検」「町たんけん」などを通して、学校生活を支えている先生や人々、自分たちの地域で生活したり働いたりしている人々とのコミュニケーションを大切にしながら、自分たちの生活が多くのの人々や様々な場所とかかわっていることに気付かせたい。そして、自分たちの学校や地域の良さなどを再発見し、まだ活動制限が残る状況ではあったが、自分が伝えたいことが相手に伝わることの楽しさや相手の話を聞くことで、一層親しみや愛着が深まったり、自分なりの表現ができるようになったりするのではないかと考え、研究を進めていくことにした。

## 3 研究仮説

### (1) 仮説1 関わり合いを大切にした体験活動

身近な人々との関わり合いを大切にした体験活動を取り入れていけば、地域や学校に親しみや愛着をもち、進んで関わろうとする意欲が育つであろう。

学校や地域で生活したり働いたりしている人々と接し、様々な場所を調べたり利用したりする活動を通して、学校のよさ、地域の人々のよさに気付かせていきたい。また、この活動によって、親しみや愛着を深めるようにしていきたいと考えた。

## 手立て

- ・子ども一人一人の驚き・発見などを大切にしながら、自分の学校や地域の探検を通し、豊かな体験活動をさせる。

### 仮説2 自分の体験や思いを伝え合う活動

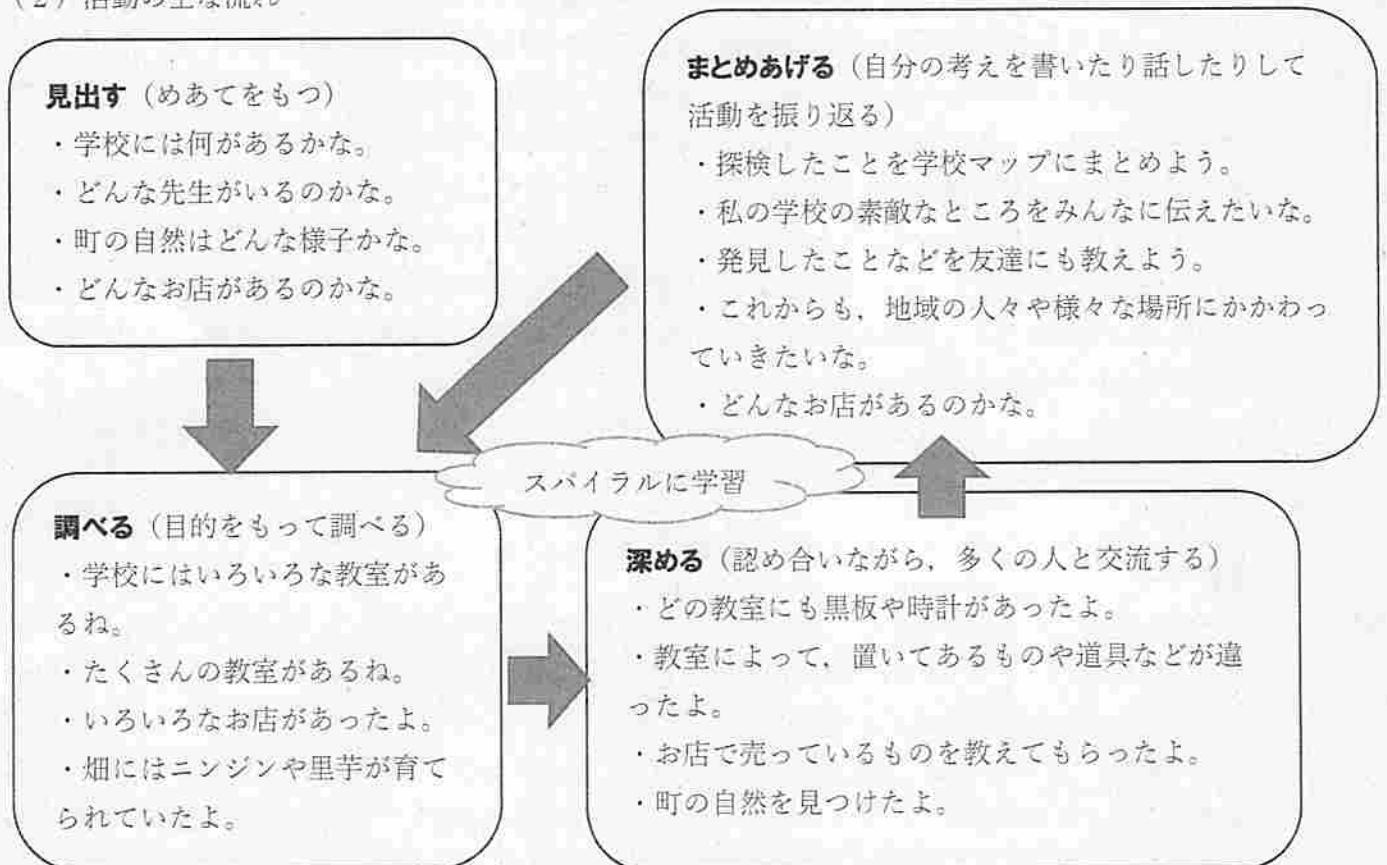
感想を交流したり友達の発見や考えを認め合ったり、自分の学習を振り返ったりする学習の場を設定すれば、気付きが深まり、積極的に交流しようとする子どもが育つであろう。

学校や地域を探検して発見したことや驚いたことなどを、友達や地域・学校の人々と交流して認め合ったり、振り返ったりする言語活動を行うことにより、気付きを深め合うことができると考えた。また、人との関わり合いのよさに気付いて、自ら進んで交流しようとする意識を高めたい。

## 手立て

- ・活動を振り返る場を設定することにより、個の気付きを自覚化させたり、共有化させたりする。
- ・自分がわかったことをどのように伝えれば、効果的か考えさせる。

### (2) 活動の主な流れ



## 4 授業実践例

### 1年生の授業実践

(1) 小単元名 がっこうで みつけたこと いっぱいほんじょうしょうを たんけんしよう

#### (2) 小単元について

##### ①小単元観

入学したばかりの子どもたちは1年生になったという喜びや期待感、自らやってみようとする意欲をもっている。この時期に様々な学校の環境について自分なりに気付くことやいろいろな先生方や友だちと交流すること、自分の課題をみつけ解決すること等の経験は、これからの学習を進めていく上で大切なことである。

ここでは、新しい友だち、上級生、学校で働く人たち等の関わりを通して身の周りの人たちと親しみをもって生活すること、校庭や校舎の施設、植物等に関心をもって楽しく関わることをねらいとしている。

##### ②児童の実態

第1学年の児童は73名で男子の割合が多く、元気で活発な児童が多い。同じ保育園出身の児童が多いが、初めて出会った友だちもいるため、会話やレクリエーションを通して学級の友だちと仲良くする活動をしてきた。4月の当初は毎日6年生が朝の支度や読み聞かせ、給食のやり方などを教えてくれた。1年生にとってはその関わりが嬉しくて、来てくれる時間を毎日楽しみにしていた。だんだん仲良くなると、昼休みに遊んでもらうことも増え、上級生との関わりが広がっていった。本校は3つの棟に分かれているため、普段使用している教室以外は全く他の場所が分からず、グラウンドで怪我をすると自分で保健室に行けずに、上級生に面倒を見てもらうこともあった。そこで、本小単元の「ほんじょうしょうをたんけんしよう」では、活動の場を自分たちの教室から学校全体に広げ、学校はどんなところなのか、どんな様子なのか校内を自由に回って、興味のあるものやそこにいる人々に自ら進んで触れることを通して、自分の学校の様子や学校生活を構成するいろいろな人の存在に気付くことができるようにしたい。

探検で分かったことや見つけたことを学校マップにすることで、視覚的にどのような教室がどこにあるかを確認したり、自分たちで作り上げたという達成感を味わえたりしていきたい。



##### ③指導観

入学して2ヶ月余りが過ぎた。子ども達は、小学校生活に慣れてきて、活動の場を自分たちの教室から学校全体に広げつつある。学校はどんなところなのか、どんな教室があるのか、2年生に説明を受けながら校内を探検することでたくさんの教室があることがわかった。「あの教室にもう一度行ってみたい」「あの教室は、どこにあるんだっけ？」というつぶやきも聞かれ、自分たちでもう一度興味のあるところに探検し、そこにいる人々と触れ合うことを通して自分の学校の様子や学校生活を構成するいろいろな人の存在に気付くことができるようにしたい。そのため学校探検後、学校マップにすることで学校全体の様子を把握し、いろいろな人で学校が成り立っていることを気付かせたい。

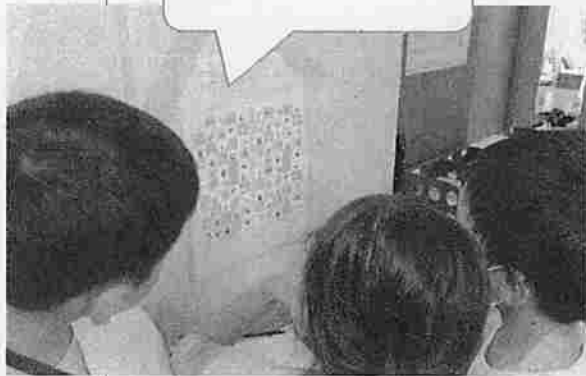
④小単元の指導目標

- 学校の施設や学校生活を支えている人々や友だちに関心を持ち、楽しく学校生活を送ろうとしている。  
(主体的に学習に取り組む態度)
- 校庭や校舎の施設等に関心を持ち、楽しく関わるができるように工夫するとともに学校生活の楽しさを身近な人に伝えることができる。  
(思考・判断・表現)
- 学校の施設、学校生活を支えている人や友だちの様子に気付く。  
(知識・技能)

⑤ 実践記録

小単元名	学習内容と学習活動	指導・支援
<p>ほんじょうしょうをたんけんしよう</p>	<p><b>見出す</b></p> <p>どんなところかな</p> <p>○2年生と自己紹介して、学校を案内してもらおう。 ○学校には何があるのか、どんな先生がいるのか。</p>  <p><b>調べる</b></p> <p>はっけん！こんなひと、こんなところ！</p> <p>○1・2年生6名ぐらいのグループで探検する。 ○スタート場所をグループごとに変えることで、スムーズに探検できるようにする。 ○それぞれの教室にシールを置き、探検すると好きなシールを貼ることができる。</p> 	<p>・事前に自己紹介の仕方や質問などの内容を決めておく。(主に2年生)</p> <p>2年生のお兄さん・お姉さんと自己紹介をして、友達になったよ。</p> <p>・探検に行く前に、約束ごとを確認する。 ・シールは、1年生に選ばせても良いし、2年生が貼ってあげても良いことを伝える。</p> <p>1年生の〇〇さん達、こっちだよ。</p> <p>どんな教室があるのか、わくわくするね。</p>

どのシールがいい？

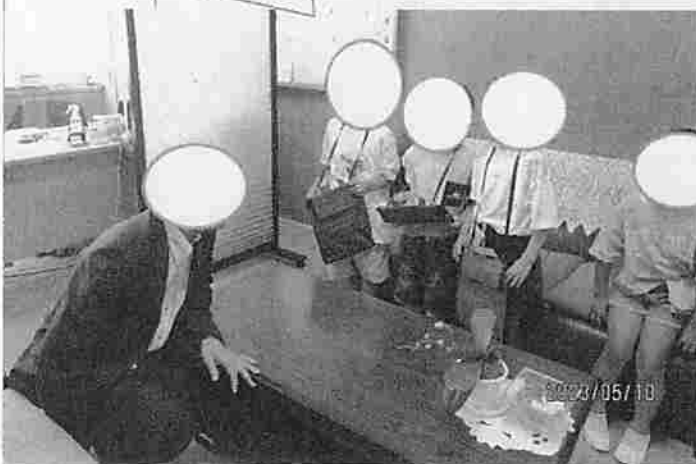


2年生に貼ってもらえてうれしいな。



○2年生は案内する教室が、どのような使われ方をするのか説明をする。

校長先生が校長室でどんな仕事をしているのか、いろいろ教えてくれたよ。



校長先生は、難しそうな本を読んで勉強しているんだね。



ソファが、ふかふかだね。お客さんが座るためにあるのかな。



○2年生に学校案内してもらった後に、感想や思ったことを1・2年生それぞれ発表する。

・2年生にいろいろな教室を案内してくれたから、よくわかった。(1

年生)

- ・優しく教えてくれて、嬉しかった。(1年生)
- ・1年生に教室を説明できて楽しかった。(2年生)

### 深める

- 2年生との学校探検では、時間内にすべて回れない教室があったので、探検できていない教室やもう一度行きたいところを決めて探検に行く。
- グループになり、調べたい教室やそこに関わっている先生方にインタビューをしてより詳しく学校について調べる。
- 調べた教室にどんな物があったのか、記録するためにタブレットを使って写真を撮った。

・上級生は、どんな勉強をしているのか、先生方は、どんなお仕事をしているのか調べるようにする。



保健室には、教室に無い物がたくさんあるよ。

ここの教室(チャレンジルーム)では、みんなと同じ勉強をやっているけど、ゆっくり学習したほうがあるお友達に来て、勉強する所だよ。



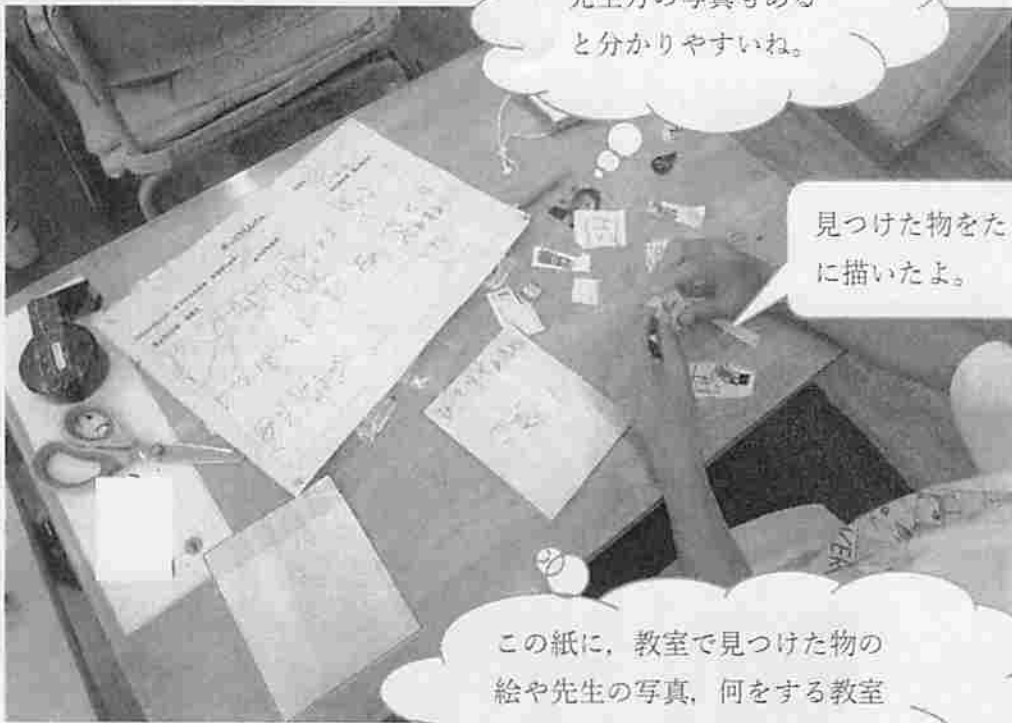
### まとめあげる

- グループごとに、調べた教室にどんな物が置いてあったのか、ワークシートに記入する。しかし、この時期の1年生はまだ学習していない文字(拗音)もあり、まだ十分にひらがなが書けなかったため、苦戦した。子ども達から「絵なら描ける。」という発言があって、それぞれの教室にどんな物があるのか絵に描いて表し、「学校マップを作ろう」ということになった。

・マップは校舎配置図を拡大したものを使う。



○探検して見つけたことを学校マップにまとめる。



先生方の写真もある  
と分かりやすいね。

見つけた物をたくさん絵  
に描いたよ。

この紙に、教室で見つけた物の  
絵や先生の写真、何をする教室  
なのかを書くよ。

### ゆっくりべんきょう

先生の  
写真

(○○せんせい)

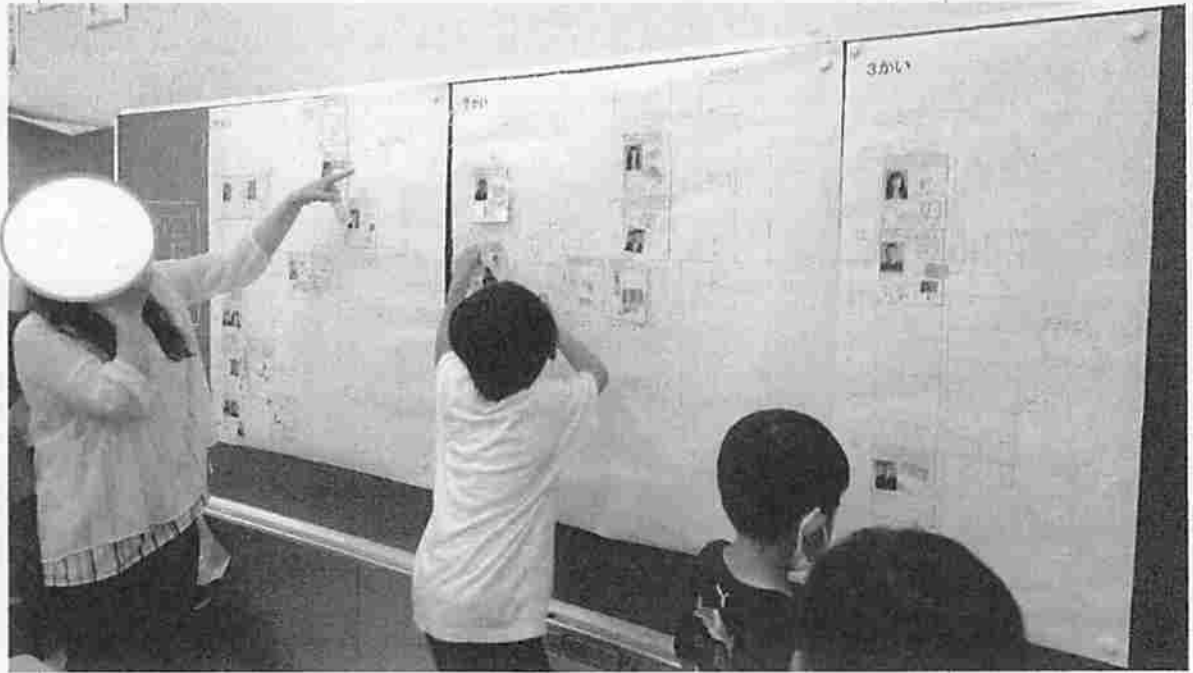
絵

絵

絵

絵

← 「何をする教室なのか」  
については、3色に分けて表した。  
黄色…勉強する教室（1年1組や  
チャレンジルームなど）  
ピンク…移動して使用する教室  
（音楽室や保健室など）  
水色…みんなのために準備する部  
屋（職員室や給食調理場など）



○学校マップが完成し、自分たちが調べた教室について発表する。

- ・どの教室にも黒板があったよ。
- ・5年生の教室は、難しそうな勉強をしているね。
- ・音楽室は、いろいろな楽器があったね。
- ・理科室には、実験する道具がたくさんあるよ。
- ・家庭科室には、フライパンや鍋、アイロンなどがあって、お家みたいだね。
- ・スマイル教室は、心のお勉強をするんだ。難しそうだな。
- ・校庭の草刈りや花壇に花を植えてくれている先生もいるんだね。だから本城小は花がたくさんあってきれいなんだ。

○学校マップを見て疑問に思ったことや聞きたいことを質問する。

- ・描いてある絵について質問し、自分も探検して見つけた物だと分かる。「あったね」「分かった」という反応をして、自分たちの学校に親近感や愛着を深めていった。
- ・探検したことや学校マップに先生方の写真を貼ることで、たくさんの先生方が本城小に関わっていることを知った。

○「学校のヒーローは誰だろう？」と発問する。

- ・給食を作ってくれている〇〇先生だよ。
- ・担任の〇〇先生じゃない。
- ・教頭先生だよ。
- ・一番偉い校長先生だよ。

・子ども達は、前に移動して、マップがよく見えるようにする。

	<p>といろいろ意見が出た。</p> <p>自分たちの学校生活は直接関わっていない先生も自分たちの生活を支えてくれたり豊かなものにしてくれたりしていることに気づき、子ども達が考えた結果</p> <p>「みんなの先生がヒーローなんじゃないかな」という考えにまとまった。</p>	
--	---	--

## ⑥児童の変容

### 仮説1 関わり合いを大切にしたい体験活動

身近な人々との関わり合いを大切にしたい体験活動を取り入れていけば、地域や学校に親しみや愛着をもち、進んで関わろうとする意欲が育つであろう。

- 棟が違うため、普段会うことが少ない先生でも顔と名前が分かるようになり、進んで声をかけるようになった。
- 怪我した時など担任がそばにいないでも、自分で保健室へ行けるようになった。
- 特別教室を使用するときは、「自分たちが調べた教室だ」という雰囲気が出まれ、物を大事にしようとする傾向がみられた。
- 「栄養士の〇〇先生が作ってくれた給食だから残さず食べよう」といって苦手なものでも挑戦する児童が増えた。

### 仮説2 自分の体験や思いを伝え合う活動

感想を交流したり友達の発見や考えを認め合ったり、自分の学習を振り返ったりする学習の場を設定すれば、気づきが深まり、積極的に交流しようとする子どもが育つであろう。

- 文字で表すことが難しい児童から絵で表現するアイデアがでた。
- 完成した学校マップを見て、学校には勉強する教室が多いが、自分達が入らない教室もあることに気付いた。どんな教室があるのか、みんなで話し合っていく中で、印刷室や給食調理場など自分達の学校生活を支えるために必要な教室だと気付いた。
- グループごとにマップに描いた発見した物の発表をすると、「それあったよね」「僕も見たいな。」とつぶやきがあり、自分が発見した物に自信が付いた。

## ⑥ 成果と課題

- 1年生は、2年生に案内してもらったり説明してもらったりすることで、安心して活動することができた。
- 2年生に案内してもらったことをきっかけに自分たちでも、もっと調べてみたいという意欲をもった。
- 調べたことを表現するときに、文字では難しいことから、絵を描いて見つけた物を伝える方法を考えた。

- 教室を色分けすることによって、自分たちが入らない教室もあることが視覚的にも分かり、その教室も大切な役割があることに気付けた。
- 「みんなの先生がヒーローなんじゃないかな」というまとまりになったことで、自分たちとは直接関わっていない先生方も自分たちの学校生活を支えてくれていることに気付けた。
- 自分の発見を学級みんなに認めてもらって、自信を持つことができた児童もいた。
- 互いに発見したことを1つのマップにまとめたことは、自分や友だちの良さを知り、互いに交流する楽しさを味わうことができた。
- ▲せっかく2年生との関わりをもてたので、継続的に関わっていく計画を立てることで、より仲良くなったのではないかと思う。
- ▲今年は専科がないので、グループによっては調べた教室(図工室や音楽室など)に担当の先生がなくて、十分な交流が図れなかった。

## 2年生の授業実践

### (1) 小単元名 地区探検

#### (2) 小単元について

##### ①小単元観

児童は、1年時、学校探検することで、学校生活のいろいろな先生方や上級生たちによって支えられていることを学んだ。また通学路探検を通して通学路の様子を知り、その安全を守ってくれる地域の方がいることで安全な登下校ができることも学んできた。

ここでは、児童が身近な生活圏である地域に出て、そこで働いている人々と接しいろいろな店や施設、工場を調べたり見学したりすることを通して、それらが自分たちの生活を支えていることや楽しくしていることが分かり、地域に親しみや愛着を持って、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにしたい。

##### ②児童の実態

第2学年の児童は75名で2クラスのため、教室はかなり狭く感じるが男女仲良く、休み時間には一緒に遊ぶ姿が見られる。地域には、登下校の交通安全のために、地域の方が横断歩道に立って児童たちの安全を見守ってくれている。その方に挨拶をしたりお礼を言ったりお話しする児童も少なくなく、人懐っこい面がある。地域には商業施設が多いため、知っている店もたくさんあり、よく買い物に行っている店が多かった。しかし、地域にある商業施設は大きいため、地域の方と触れ合って買い物する経験はほとんどない。そこで、町探検を通して地域の方との交流を図り、自分たちの生活は、地域の様々な場所や人々と関わっていることがわかることで、それらに親しみを持って関わっていけるようになればと考える。そして、発見したことや気付いたことを伝え合う中で、地域の良さに気付き、地域への愛着を深めていきたい。

##### ③指導観

2年生になると、自分たちでコンビニに行きたくらいのものを買ったり友だちの家に遊びに行ったり

して行動範囲が広がってきている。大きな商業施設は自分たちだけで買い物に行ったことはあまりなく、大概の児童は保護者の買い物に付き添いで行っていることが分かった。その中で「薬局屋さんはどうしてお菓子も売っているのかな」「コンビニに少しだけ野菜を売っているのは、なぜかな。」などの疑問を持っていることが分かった。そこで、探検を通して身近な店について調べることで、より理解した上で買い物をしたり、利用することをしたりすることは、地域とよりよく関わっていけると考える。それぞれ、自分たちが探検したことをクイズやポスター、ペープサートなどで友達に発表することにより、情報を共有したり自分たちの地域をもっと知りたいと思ったりと地域と自分たちの生活の繋がりを感じられるようにしたい。また、自分たちが学んだことをクラスの友達だけに伝えるのではなく、1年生にも発表することで、伝える対象を考えて情報の精選や伝え方を工夫し、自分たちが学んだことを伝えるという学習はとても大切になると考えた。そして、自分たちは地域の一員であることを自覚していく中で、地域のよさ、地域の人々への親しみや愛着を深め、地域でともに生きていこうとする気持ちを育んでいきたい。

#### ④ 小単元の指導目標

- 地域の様々な場所と進んで関わりをもとめたり、人々と適切に接したり、安全に生活したりしようとする。 (主体的に学習に取り組む態度)
- 人との関わりを楽しんだり、お気に入りの場所を見つけたりしたことを、自分なりに表現することができる。 (思考・判断・表現)
- 自分たちの生活は、身近な人々や様々な場所と関わっていることに気付く。 (知識・技能)

#### ⑤ 実践記録

小単元名	学習内容と学習活動	指導・支援
地区探検	<p><b>見出す</b></p> <p>どんなところかな</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○住んでいる地域にはどんな店や施設などがあるかな</li> <li>・たくさん店の名前がでた。</li> <li>・よく遊びに行く公園や本などを借りる図書室があるコミュニティーセンターなどがでた。</li> <li>・自分が利用している店が友だちも利用していることを知ることで嬉しい気持ちになったり、あまり利用したことがない店がでてくると、「どんな店なんだろう」と興味をもったりして聞いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーや薬局、コンビニなど種類ごとに分類しながら地域のよく行く場所が分かるようにする。</li> </ul>



どんな店や施設があるのかな。

## 調べる

みつけたよ！こんなところ

○探検したい場所を決める。

- ・ベイシア、ウエルシア、三里塚歯科、ファミリーマート、コミュニティセンター、レヨン（外国の食べ物が売っている）、金森メタル（工場）

○調べたいことや聞きたいことをグループで相談する。

- ・質問の内容は、「働いている人の人数や店の名前由来、何種類売っているのか、大変なことはどんなことか」などが多く、事前に質問内容をまとめた。
- ・誰がどの質問をするかを決めて、当日スムーズの流れるよう練習を行った。

○それぞれの見学場所に探検しに行く。

- ・見学する場所が多かったため、交通安全のために保護者のボランティアの方にも協力してもらって活動した。

何種類ぐらいの薬を売っていますか。



・店によっては、コロナ感染防止ため、探検に行く児童や引率の教師の名簿の提出をした。

・質問については、児童が聞きたいことを大事にしつつ、その店の特徴が分かるようなものになるよう、教師が関わっていく。

・探検に行く前に、約束ごとを確認する。

・店や施設だけでなく、普段見慣れている自然にも目を向けられるようにする。

## 深める

○探検して「調べたことや分かったこと」をロイロノートに書く。(個人)



### ベトナム

お店で、はたらはたしている人数は、100人なそうです。お店に売っているしゅるいは、5000しゅるいなそうです。いまのおすすめは、みかんなそうです。私は、とり肉のねだんが、100g 95円でした。あまりにもやすいので、私、買おうかなと思いました。



どうしてファミリーマートという名前になったのですか？というしつもんをしてみるとファミリーはかぞく、かぞくやお客さんが楽しくこれるお店にしたいなとおもったからだそうです。

おすすめの商品は他の商品より多く売っていると言っていました。

飲み物が売っているうらがわを見せてもらおうと、すごく寒かったのですがふだんはもっと寒いと言っていました。

うらがわは、飲み物がいっぱいありました。店長さんがここをおしてみてもいいと言ったのでおしてみると飲み物が奥へ流れて行きました。

次は飲み物のほじゅうをさせてくれました。

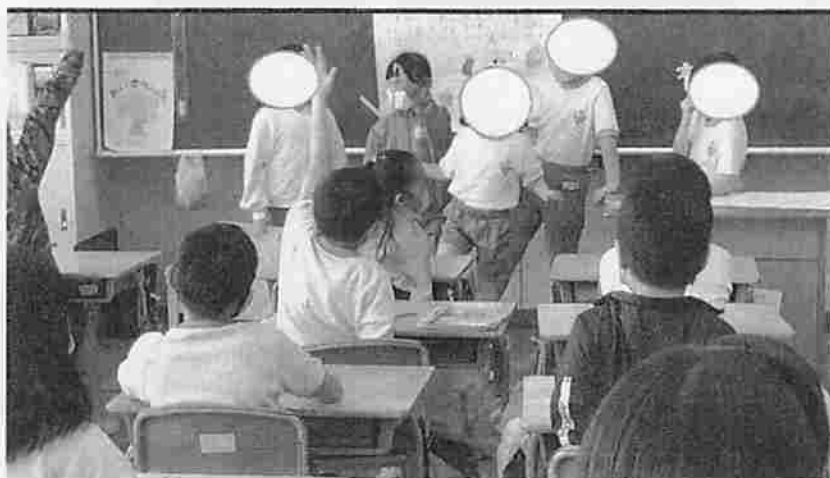
・文字については直接書いて良いとしていたが、ひらがなのキーボードを使いたいという児童が多かったので利用できるようにした。

・探検場所ごとに撮った写真をフォルダーに入れ、児童が使いやすいようにする。

○探検したグループで「見学して、どんなことが分かったのか」、他の友達に知らせる方法を考えた。

- ・クイズ、ポスター、地図、ペープサートなどが出た。
- ・それぞれの発表の方法で必要なものを準備し、作業に取り掛かった。
- ・どのように作っていくか話し合う中で意見がぶつかったり思うように作業が進まなかったりと、初めてのグループ作業につまずくところもでた。(コロナウイルス感染防止のため、グループ活動はほとんど行っていなかった。)

○探検しに行ったグループごとに発表する。



### まとめあげる

- 1年生に町探検を発表するために、どのようにしたらわかりやすいか考える。
- ・写真が見づらいから、テレビに写したら分かりやすい。
- ・時間が限られているから、どのクイズを出すか考え直そう。
- ・1年生が習っていない漢字には、ひらがなを書こう。



ひらがなを書いて、1年生でも読めるようにしよう。



○1年生に発表する。



3択問題は、1年生も楽しんでもらえるかな。



この機械は、鉄をどうすると思いますか。

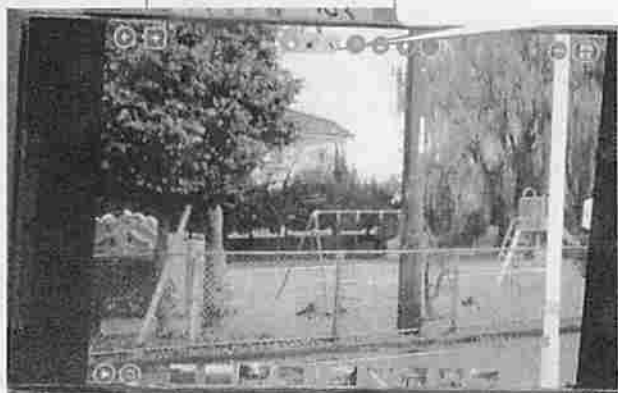


コミュニティーセンターに行く途中に、広いニンジン畑があったよ。

この大きい機械を少ない人数で動かしています。



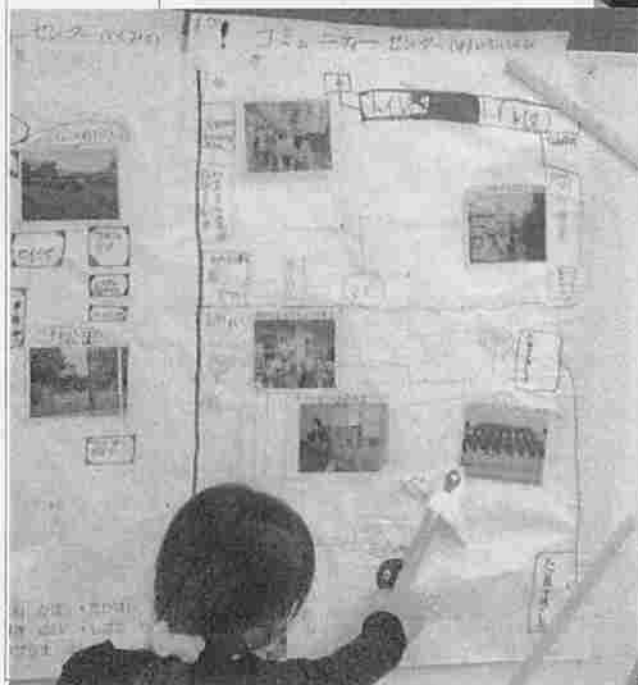
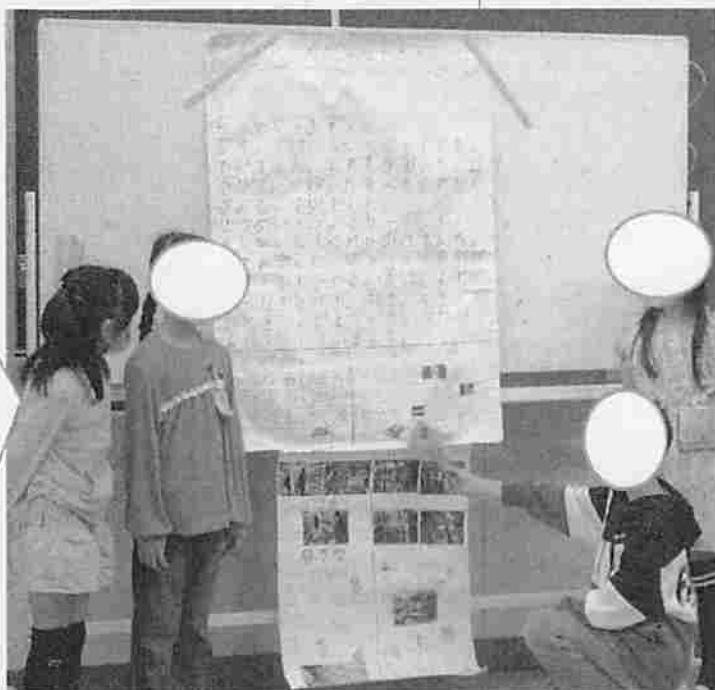
近くに公園もあるね。



みんなが使いやすいように階段や床に点字があったよ。

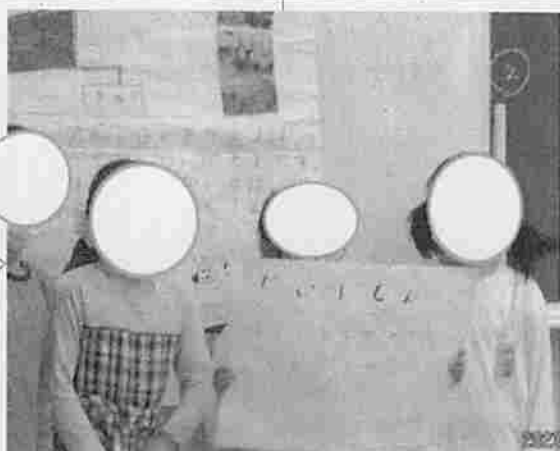


レヨンはいろいろな外国の食べ物が売っていたよ。肉も冷凍されて売っていて、スーパーで買うよりも安いよ。ファミリーマートでは、バックヤードに入って、飲み物の補充をさせてもらったよ。中はとても寒かったよ。コンビニに野菜を売っているのは、直接農家の人が届けて来ているから、安いし新鮮だということがわかったよ。



多目的室には、椅子がしまっていて、必要な時に出して講話を聴いたり、映画を視聴したりできるよ。

ウエルシアには、薬だけでなくお菓子も売っている理由は、いろいろな人が買い物をしやすいようにするために売っているのだそうです。白衣を着ているのは、清潔にみられるためだそうです。



- 発表後に1年生、2年生のそれぞれの感想を発表する。
  - ・身近な店について、いろいろ知ることができて嬉しかった。(1年)
  - ・来年の町探検が楽しみになった。(1年)
  - ・緊張したけど、1年生が聞いてくれてよかった。(2年)
  - ・これから買い物をするときに、おすすめコーナーを見て「今、おいしい旬なもの」を見つけてみようと思う。(2年)
- お礼の手紙を書く。
  - ・自分が探検させてもらった店や施設、工場にお礼の手紙を書いた。
  - ・探検したことによって、自分が買い物に行ったときに学習したことを活かして買い物をするなどを書いていた。

## ⑥ 児童の変容

### 仮説1 関わり合いを大切にした体験活動

身近な人々との関わり合いを大切にした体験活動を取り入れていけば、地域や学校に親しみや愛着をもち、進んで関わろうとする意欲が育つであろう。

- 探検したお店の中には、どんなお店か気になっていたけど入ったことがない店もあった。友達のプロテクターが経営しているということもあって、気軽にインタビューでき、身近な店に感じるようになった。
- コミュニティーセンターは、みんなが気持ちよく使ってもらうために工夫されていたりイベントが模様されていたりすることが分かり、「みんなが使うところだから大切に使おう」とか「今度イベントに参加しよう」など地域のイベントに積極的に関わろうとしていた。
- 「おすすめの商品」がどのように置いてあるのかが分かり、自分も買い物に来た時には積極的にそのコーナーを見ようという意識になった。
- 歯科は、「歯の治療は怖い」というイメージが強かったが、歯医者さんのいろいろな道具を見せてもらうことによって、歯を直してくれるためのものだという意識が高くなり、治療に前向きな考えが芽生えた。

## 仮説2 自分の体験や思いを伝え合う活動

感想を交流したり友達の発見や考えを認め合ったり、自分の学習を振り返ったりする学習の場を設定すれば、気づきが深まり、積極的に交流しようとする子どもが育つであろう。

- グループごとに発表した後の質問や感想などから、自分達が探検してわかったことを自信をもって話す姿が見られた。
- 自分たちでの発表を活かして1年生に向けて話し方や資料の見せ方を工夫することができた。
- 友達同士と1年生に発表をすることで、伝えることに自信が付いた。

### ⑦成果と課題

- 自分たちの住んでいる地域は、豊かな自然に囲まれ、いろいろな店もあって、とても住みやすいことに気が付いた。
- 地域の方と関わることの楽しさに気づき、見学させてもらったお礼の手紙をその子なりの言葉で表現することができた。
- 地域のことをよく知っただけではなく、それをお家の人と話すことによって買い物したり利用したりするときにより親近感（自分たちが調べた場所という思い）をもつようになった。
- 買い物をするとき、学習したことを活かして「おすすめコーナー」を見て買い物をする児童が増えた。
- 1年生にも発表することによって、どのようにすれば伝わりやすいか子ども同士でアイデアを出し合うことができた。
- 町探検したことによって、いろいろな店や病院、公共施設だけでなく、にんじん、里芋、落花生などの畑や花が育てられている場所もあり緑が豊かな地域だということに気付いた。
- ▲町探検が1回しか行けなかったので、もう少し探検に行けたら、学校の周りや店の様子の変化を発見でき、より学びを深めることができた。
- ▲初めてのグループ活動ではあったが、自分たちが伝えたいことを効果的に伝えられる方法にもっと視点を当てることで情報が精選できたと思う。

## 5 学習を振り返って

- 自分の学校や地域を知る活動を通して、インタビューをしたりグループで協力してまとめたりすることでコミュニケーション能力が高まった。また、自分たちで考えてまとめたことが自信に繋がった。
- 調べたことの伝え方をそれぞれ考え、表現することができた。
- 自分たちの生活は、いろいろな先生や地域の方に支えられていることに気付いた。
- ▲それぞれの学習を通して、名前を覚えた先生に話しかけたり地域での買い物をより楽しんだりするようになったが、学習として継続的な交流はできなかった。
- ▲発表では、調べたことを十分に伝えられていないグループもあったので、もう少しグループに寄り添った指導ができればよかった。